

中小企業の経営のIT化を応援するネットde記帳／記帳代行も便利
自計も商工会が強力サポート／農業・建設業・不動産業にも対応
パソコンがあればいつでもどこでも入力やチェックOK!

ネットde記帳

マガジン

商工会推奨ASP経理システム

ユーザー
レポート

変わったこと
よかつたこと

経理業務の
負担を軽減の
!

ネットde記帳ストーリー

商工会が
経理の悩みを
解決します!

マンガで
すっきり
解説!



専門家に聞く

ITコーディネータ・税理士

ます!

ネットde記帳マガジン CONTENTS

- 3 ネットde記帳が
経理業務を変えます!
- 4 ネットde記帳のシステム概要
- 5 [マンガ]
商工会が経理の悩みを
解決します!【前編】
- 13 [ユーザーレポート]
ネットde記帳で
変わったこと
よかったこと
- 18 ネットde記帳は
インターネットでつながる
簡単・便利なシステムです
- 24 専門家に聞く①
ITコーディネータ
伊東寛記さん
- 25 [マンガ]
商工会が経理の悩みを
解決します!【後編】
- 33 専門家に聞く②
税理士
片野浩史さん
- 34 商工会の取り組み
- 35 ネットde記帳を
ご利用いただくには

いつでも・どこでも・誰にでも！

ネットde記帳が 経理業務を変え

ネットde記帳は、インターネットを利用したASPシステム[※]で、伝票入力や決算、各種申告書作成などが簡単に行える経理システムです。

※ASP(アプリケーション・サービス・プロバイダー)システムとは、インターネット回線を通じてソフトウェアが利用できるサービスのこと。パソコン1台ずつソフトをインストールする必要がないうえに、バージョンアップやデータのバックアップなどの作業も不要です。

ネットde記帳はここが便利

複数の拠点で同時利用が可能

複数の拠点から複数の人が同時に入力、参照が可能です。支店や営業所から会計データを直接入力し、本社でリアルタイムに状況を把握、決算することができます。

メンテナンスの手間も不要

ASPサービスなのでソフトのインストールやバージョンアップの作業は一切不要です。データのバックアップなどのメンテナンスも自動で行われます。

商工会がしっかりサポート

導入から申告まで商工会がしっかりサポートします。自分で記帳することが不安な方には、記帳指導のほか、商工会が代わって伝票入力や帳簿作成などを代行する記帳代行サービスも利用できます。

いつでもどこでも入力OK

インターネットが使えるパソコンがあれば、会社でも自宅でも、外出先でも元帳や試算表の入力、確認が可能です。

会計データを共有

商工会から事業所に来てもらうことなく、インターネットでタイムリーにアドバイスを受けることができます。「付箋機能」を利用すれば、仕訳に「質問と回答」の入力が可能になり、コミュニケーションツールとしても機能します。決算のときなどでも、商工会にデータをとりに来てもらったり、送ったりという手間も不要です。

セキュリティも安心

事業者ごとにパスワードで管理され、データ処理も暗号化。会社情報を万全のセキュリティで管理しています。

ネットde記帳のシステム概要

システムの動作条件

対応OS / Microsoft Windows XP, Vista, 7
 インターネットブラウザ / Microsoft Internet Explorer 7.0以上必須
 (9.0 まで対応済)
 CPU / 2.33GHz以上のx86互換プロセッサ以上を推奨
 メモリ / 2GB以上のRAM, 128MB以上のグラフィックメモリ、
 HDD空き容量10GB以上推奨
 ディスプレイ / 推奨解像度 1024×768以上
 必要なソフト / Adobe Flash Player11
 Adobe Reader v9.0以上推奨
 ※帳票印刷時に必要
 ※64ビット版OSをご利用の場合、ブラウザは32ビット版をご利用下さい

■ インターネット接続

ネットde記帳の利用には、インターネットに接続できる環境が必要です。また、データの登録にあたっては、リアルタイムにサーバーに登録するため、常にインターネット回線に接続している必要があります。

プロバイダー / どこのプロバイダーでも可能
 回線種別 / 常時接続回線(光回線<3Mbps以上)を推奨)

主要スペック

仕訳件数 / 月10,000件 年間120,000件
 金額桁数 / 12桁(1兆未満)
 科目別補助数 / 1科目につき最大1,000
 銀行件数 / 最大50
 取引先件数 / 最大5,000
 汎用補助1~3件数 / 最大5,000
 固定摘要数 / 最大1,000
 会計単位・部門件数 / 最大1,000
 工事件数 / 最大1,000
 入力形式 / 仕訳帳・振替伝票・出納帳・入金伝票・出金伝票

事業所機能

項目	条件等	項目	条件等	項目	条件等		
日常業務	入力	マスター 関係登録	基本情報	マスター 関係登録	工事	工事配賦情報 工事予算登録	
	検証		勘定科目情報		定型仕訳	振替伝票 入金伝票 出金伝票	
	帳簿		固定摘要		決算書	決算報告書 キャッシュフロー計算書	
	管理表		補助関係	決算業務	分析	分析グラフ	
	工事管理表				部門	固定資産	固定資産台帳
						消費税込申告書	消費税基本情報 消費税申告書
	資金繰表		消費税込申告書	所得税確定申告書		所得税基本情報 個人決算書 所得税申告書	
	消費税		電子申告	データ関係	更新	事前準備 データ作成・送信 メッセージ・ボックス 履歴管理 利用者情報登録・変更	
	確定				更新	決算更新	
	コミュニケーション		伝言メモ	更新	更新	更新	更新

出力帳票

区分	帳票名	区分	帳票名	区分	帳票名	区分	帳票名
日常業務	仕訳日記帳	日常業務	工事管理表	マスター 関係登録	固定摘要一覧表	決算業務	工事配賦情報登録リスト
	現金出納帳		工事別損益一覧表		科目連想登録リスト		工事予算登録リスト
	預金出納帳		工事別予算一覧表		摘要残高登録リスト		当期予算登録リスト
	振替伝票		工事別収支一覧表		実在銀行登録リスト		
	入金伝票		工事台帳		合計銀行登録リスト		決算報告書
	出金伝票		工事元帳		銀行加算登録リスト		キャッシュ・フロー計算書
	日別残		資金繰実績表		実在取引先登録リスト		分析グラフ
	日計表		資金繰実績・予定表		合計取引先登録リスト		固定資産一覧
	科目別集計表		消費税精算表		取引先加算登録リスト		固定資産入力確認リスト
	総勘定元帳		業種別精算表		実在従業員登録リスト		消費税申告書
補助元帳	仮受消費税元帳	合計従業員登録リスト	消費税の還付申告に関する明細書				
財務報告書	仮払消費税元帳	従業員加算登録リスト	青色申告決算書				
貸借対照表		実在汎用補助登録リスト	減価償却費の計算(別紙)				
損益計算書		合計汎用補助登録リスト	不動産所得の収入の内訳(別紙)				
科目別内訳書		汎用補助加算登録リスト	所得税申告書				
完成工事原価報告書		共通補助科目別期首残高登録リスト	医療費明細書				
推移財務報告書		実在部門登録リスト	申告等送信票(兼送付書)				
月次推移損益計算書		合計部門登録リスト	電子申告データ一覧				
総合損益計算書		部門体系登録リスト					
月次損益推移一覧表		部門配賦情報登録リスト					
月次推移完成工事原価報告書		工事登録リスト					
科目残高一覧表		期首残高登録リスト(工事)					
工事別集計表		工事完成情報登録リスト					

行きます 聞きます 提案します!

商工会が **前編** 経理の悩みを 解決します!

商工会の若手職員・鈴木二郎青年が大活躍



マンガですっきり解説
ネットde記帳ストーリー!

經理の悩みを抱えた3事業者の解決ストーリー！

ここ寝戸出町は
豊かな自然に
恵まれた町

ブオオオオ

農業も

部品メーカーなどの
製造業や建築業などの
二次産業も

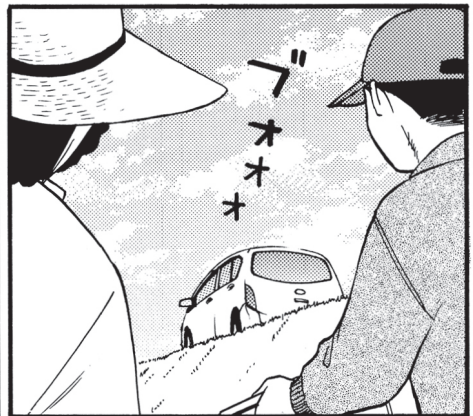
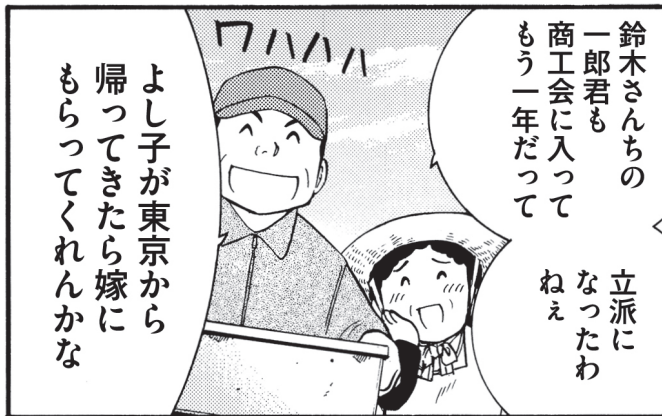
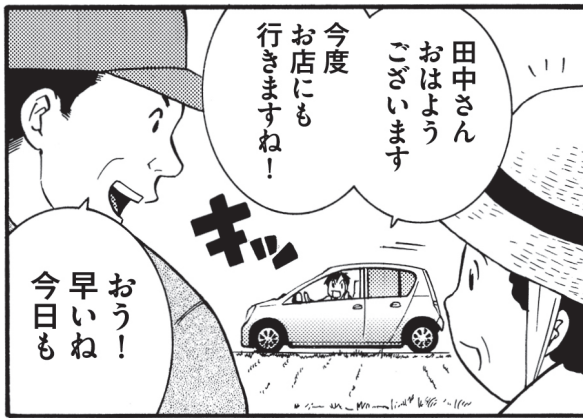
そして豊かな暮らしを
支える商業も元気な
自慢のふるさとなんだ

僕はここで商工会の
職員として働いている

まだ新米だけど
頑張っているんだ

商工会が経理の悩みを解決します!

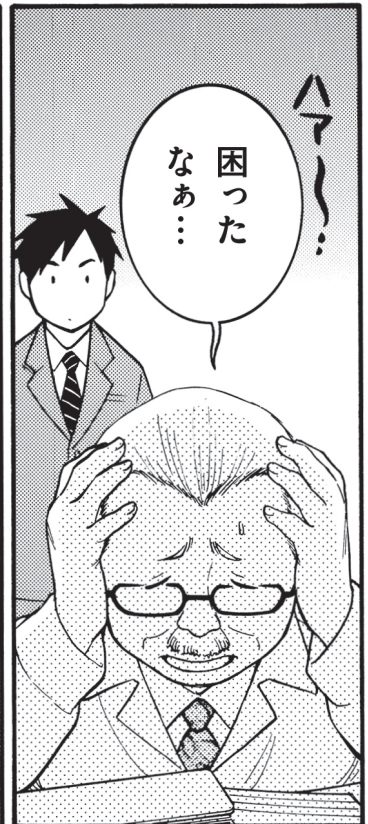
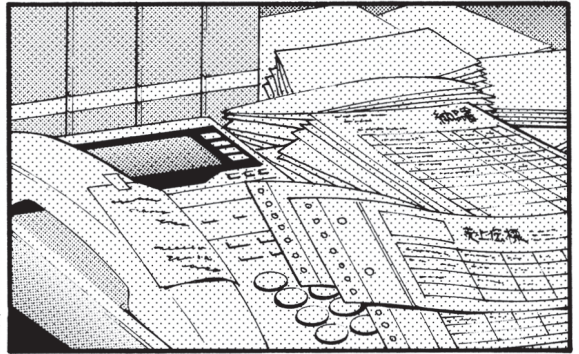
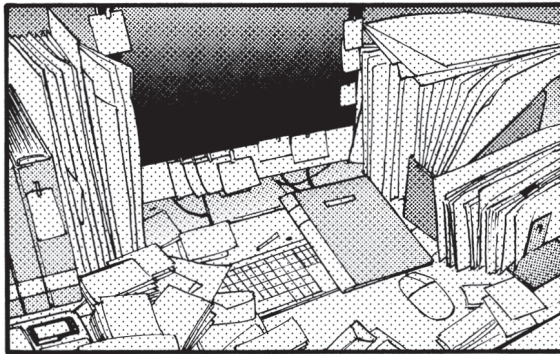
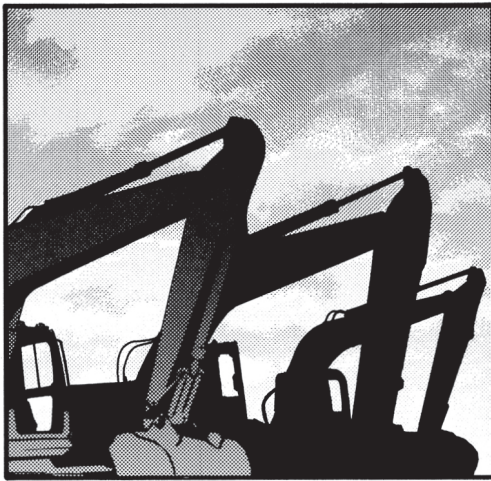
仕事が忙しくて経理作業が負担になっていませんか?



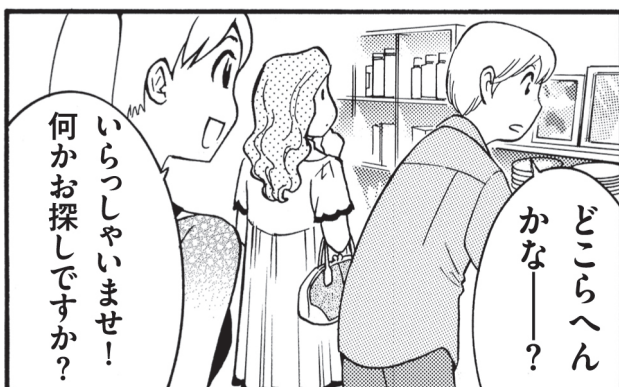
事務員さんが退職！ そんなときにもご相談ください



経理の悩みや要望に合わせて最適な提案をします!

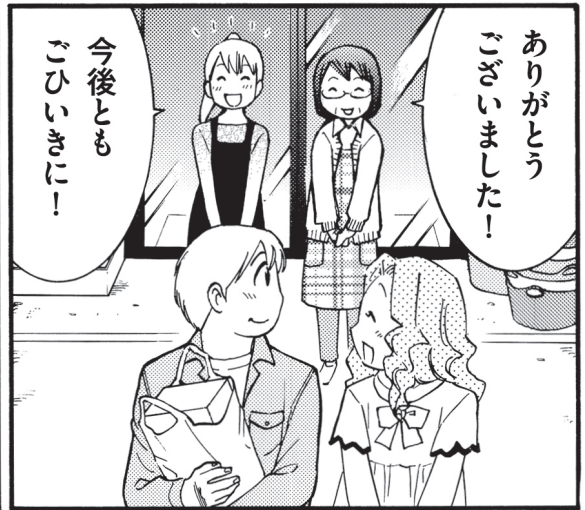


經理の知識や経験がない人こそネットde記帳が便利



商工会が経理の悩みを解決します!

パソコンだから入力操作も計算も修正も簡単にできます!



ネットde記帳ユーザーは全国各地で増えています



(後編につづく)



利用しています!

自計

代行

ネットde記帳で 変わったこと よかったこと

ネットde記帳を利用している
全国の8事業者の活用事例

親から子への 効率的でスムーズな 事業承継ができました。

代行
建具工業

斎藤建具店

秋田県にかほ市

●にかほ市商工会

**粗利や売掛・買掛、
残高確認が容易に**

2005年に3つの町が合併して新たに発足した秋田県にかほ市。日本海に面し、鳥海山に抱かれた自然豊かなこの地に、斎藤建



親子間の承継もスムーズに。左が斎藤次男さん・栄子さんご夫妻

具店は1980年に創業した。斎藤建具店がネットde記帳の前身である機械化シ

ステムの利用を始めたのは1991年。所得税の申告を白色から青色に切り替え、旧仁賀保町商工会に加入したのがきっかけ。現在は、ネットde記帳の記帳代行サービスを依頼している。ネットde記帳のベースとなる日計表を記入するのは、店主の斎藤幸生さんの奥様、真弓さんだ。「最初はとまどうこともたくさんありました。一番困ったのが複式簿記の振替のやり方ですね。でも、わからないことが出てきたとき

には、長年にわたって帳簿付けを担当してきた義母（栄子さん）に聞いて解決しています。商工会から戻ってくる前月の総勘定元帳や試算表を見て、わからない点があれば付箋を付けて記帳専任職員の方に説明してもらっていますし、簿記の知識がまったくない私もあり慣れてきたと思います」

斎藤建具店では、障子・襖、雨戸や網戸、ガラス戸、扉といった建具のほか、下駄箱や棚など部屋に造り付けする家具の受注生産も手がける。それだけに、ガラス、木材、建材、金具、塗装材など仕入れ商品も幅広い。幸生さんは大工や工務

店、建設会社などの依頼に応えて、取り付けのため顧客宅に向く毎日だ。「仕入先ごとに請求書の締め日が微妙に異なるのですが、ネットde記帳の記帳代行サービスをお願いするようになってから、締め日をしつかりチェックしてもらえるようになりました。毎月末の粗利や売掛・買掛、未払い残高が確認できるようになったのはありがたい。相手先との照合がすぐできるのも便利ですね」

継続的な試算表が 事業承継の鍵

幸生さんは、2012年に父親の次男さんから事業を承継した。このときも、ネットde記帳は大きなメリットを発揮している。「親子間で、資産無償借用契約を結びました。これだと贈与税が発生しませんが、通常、手続きはそう簡単ではありません。でも、うちの店では機械化システムとネットde記帳を通して試算表をずっと付けていますから、難なくスムーズに移行できたんですよ」

次男さんは現在、事業専従者という立場となり、斎藤建具店から給与等も支給されている。「商工会を通して専門家を派遣していただき、損益計算書や貸借対照表を見てもらったおかげで、毎月おおよその利益を把握したうえで給与の支給が可能となり、節税ができました」

親から子へ。スムーズで効率的な事業承継を可能にしたネットde記帳は、斎藤建具店の事業基盤をしっかりと下支えしている。

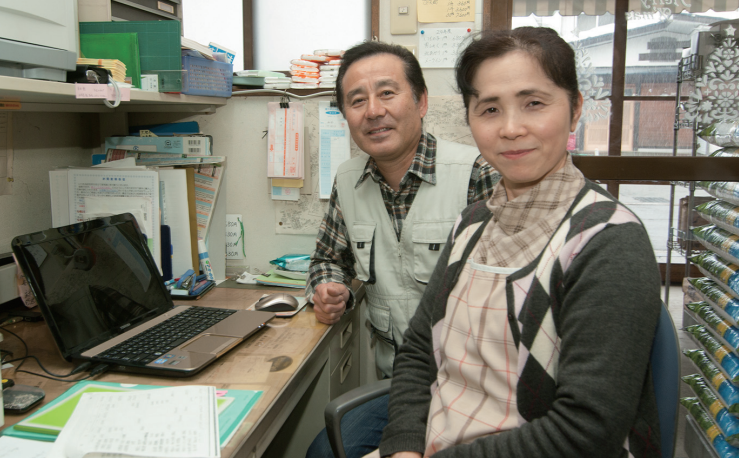
事業を受け継いだ斎藤幸生さんと真弓さん



付箋機能の活用で 疑問点を解決

日本三大美人のひとり、小野小町の生誕の地として知られる湯沢市小野に店を構える遠田米穀店は、電話注文やインターネット販売を通して遠方にも多くのファンをもつ人気店だ。

創業は1927年。店主の遠田義宏さんはネットde記帳の前身である機械化システムの時代から記



インターネット販売にも積極的に取り組む遠田義宏さん・明美さんご夫妻

帳代行を利用してきたが、2010年からネットde記帳の自計に移行した。日計表の入力を担当するのは、奥様の明美さんだ。とまどいながらも、商工会のサポートでやってこられた。明美さんは笑いながら、こう打ち明ける。

「簿記の知識もないし、最初はわからないことだらけ。初歩の初歩である貸方や借方から学んでいきました。不明な点があると、自計のやり方を最初に説明していただいたときに取ったノートを開き、それでもわからないときには、商工会の担当者に電話をかけています。同じ画面を見ながら問題を解決できるのがいいですね。付箋機能も重宝しています。夜、商工会が開いていないときでも相談できますから」

仕訳がわからないときにはその行に付箋を貼ると、「質問と回答」の入力が可能となり、異なる場合には商工会から訂正が入る。本当のリアルタイムの相談ではないが、疑問を放置せず迅速に確実に解決できる

経営に対する姿勢が変わり、 収入と支出のバランスを 考えるようになりました。

自計
小売業

遠田米穀店

秋田県湯沢市

ゆざわ小町商工会

付箋機能を、明美さんは貪欲に活用している。

自計の作業を行うのは、2カ月に一度程度。店の事務作業や家事に追われ、新米が出揃う9月末〜10月にはなかなか時間が取れないが、「3年目を迎えて、ようやくどれが何の経費なのかはわかるようになってきました」と明美さん。真摯にネットde記帳に向き合ってきたからこそその成果だ。

コスト意識が向上 売上も徹底管理

自計にシフトしたメリットを義宏さんはこう話す。「毎月の残高試算表や貸借対照表の作成を依頼する経

費を削減できた。経営に対する姿勢も変わり、収入と支出のバランスをより考えるようになりましたね。月の試算表は綴り込みし、売掛金管理もしていますよ」

遠田米穀店は2011年にホームページを開設。インターネット販売を強化している。義宏さんは、国が認めた農産物検査員の資格をもつ。農家を精力的に回り、農家とともに稲の段階からおいしい米を追求し、店内の精米プラントで随時精米した「小野小町の郷特撰米あきたこまち」はオリジナルの米袋入り。新米の時期にはサンプルを顧客に発送するなど、リピーター

獲得に余念がない。

「ネットde記帳では、昨年度対比もできるので売上金の管理もしやすい。顧客に御用聞きをするなど、販売管理にも役立つています」

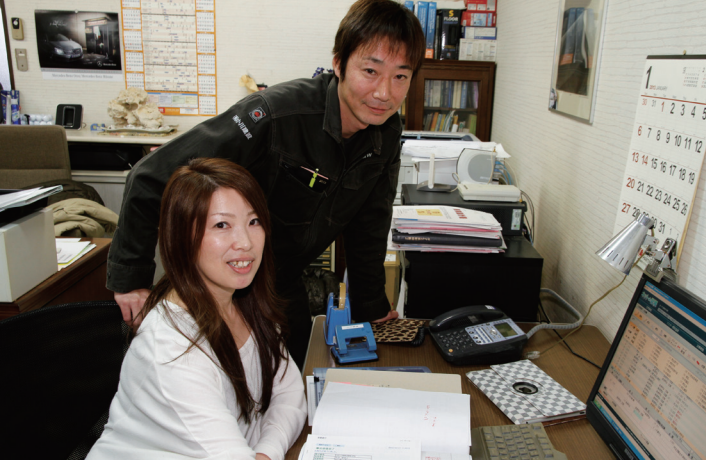
経営意識の高まりは、事業に確かなプラス効果をもたらしているようだ。



店内で精米した自慢のあきたこまの販売にも力を入れている

建設業経理士の奥様も納得の機能性

「ネットde記帳の最大の魅力は料金の安さ。法人用の会計ソフトは数十万円以上が普通ですが、ネットde記帳は初期投資なしで、年間3万円ですべて利用できる。しかも、困ったことがあればいつでも無料で相談できる。中小企業にはこれほどありがたいことはありません」
先代社長が1962年に創業した(有)小川建設。7年



「経理は妻を信頼しています」という小川豊さんと、ゆみこさん

前に社長を引き継いだ二代目社長・小川豊さんの奥様で、経理を担当するゆみこさんは、ネットde記帳導入の背景をこう語る。

実は結婚当初は会計を教わった先輩の指導に従って手書きで帳簿付けをしていたが、その後は会計ソフトを導入した。

「無料のものから始めて、さまざまなソフトを試しましたが、どれもダメでした。日常の資金管理はできても決算書が作れないなど、中途半端なものばかりでしたね。そんなとき、商工会から紹介されたのがネットde記帳だったのです」

簿記や建設業経理士の資格をもつゆみこさんにとって、ネットde記帳の機能性は予想以上だったという。「かつては公共工事と下請工事が数件というのが毎月のペースでしたが、最近は細かい仕事がどんどん増えています。件数が増えれば経理業務は複雑になる。しかも建設業の経理では一般の帳簿とともに工事台帳で工事ごとの資金の出入りを管理する必要があるのです

が、ネットde記帳は出納帳に金額を入力するだけ。これで工事台帳にもそれが反映されるのはありがたいですね」

過去の工事と比較して 自社の改善すべき点とともに 強みも見えてきました。

自計
建設業

有限会社小川建設

滋賀県愛知郡愛荘町

●愛荘町商工会

入札企業の審査にも メリットを発揮

滋賀県では年に一度、公共工事への入札を希望する企業に対して資格審査が行われる。ここで工事台帳などの提出が必要だが、ネットde記帳を導入したことで、新たな作業が必要なくなったのも、大きなメリットだという。

また最近では工事台帳を業務改善にも利用し始めた。「工事台帳の便利なところ

は工事が完了する前の段階で、かかっているコストや儲けの様子がつかめることです。おかげで工事が終わって締めてみたらほとんど儲けがなかったということとはなくなりました(笑)。しかも過去にやった同種の工事と比較して、自社の問題点や強みが見えてくるのもいいですね」

法人企業では、日常の帳簿付けは社内で行い、税金の申告は税理士事務所に依頼するというケースもあるが、小川建設は決算までネットde記帳を使って自ら処理している。

「同業者からは『不安じゃないの?』と聞かれますが、



「忙しいときなどは、夜に自宅でもパソコンがあれば作業ができるのも便利です」とゆみこさん

まったくないですね。これもネットde記帳と商工会担当者の方の指導のおかげだと感謝しています。いまでも決算前など何度も相談して助けてもらっています」



商工会のサポートで入力にも慣れたという洋子さんと県連担当者(左)

苦手な経理への不安や 忙しい日々での作業の負担が 解消されました。

自計

メンテナンス業

ツートテック

滋賀県近江八幡市

●滋賀県商工会連合会

**苦手だった経理を
ネットde記帳で克服**
不動産を中心に清掃、メンテナンスを手がけるツートテック。競争が激しい業界だが、2006年の創業以

来、リーズナブルな料金と丁寧な仕事で順調に顧客を増やしているという。

「掃除も追求すると実は奥が深い。とくにキッチンなどの頑固な油污れの清掃では腕による差が非常に大きく出るのです」

仕事には絶対の自信をもつ代表の田中由宏さんにも悩みがあった。独立前の会社勤め時代はメンテナンス技術の取得だけに集中してきたため、経理の知識がまったくなかったことだ。

開業1年目は同業者の先輩のアドバイスを受けて奥様の洋子さんと2人でなんとか処理していたが、2年目からは仕事量も増えて、

次第に手に負えなくなっていく。

「仕事で疲れて帰った後、お金の管理をするのは正直きつかったですね。請求書を作るだけで精一杯で、帳簿付けまでやる余裕はありませんでした」

徐々にやり残しの伝票や領収書が溜まって「このままではまずい」と感じた田中さんが、滋賀県商工会連合会に相談。紹介されたのがネットde記帳だった。

「同業の先輩からは税理士に任せたいのが楽だといわれましたが、顧問料などを考えて躊躇していました。ところが、ネットde記帳は初期投資もなく年間3万円

で利用できる聞き、導入を決めました」

日常の入力作業を担当する洋子さんに好評なのがサポート体制。

「導入直後は『問題なくできていますか?』と県連の方から電話をもらったのがありがたかったですね。何度不明点を聞くのは申し訳なく思っていたので、電話をもらえたおかげで気兼ねなく聞けました(笑)」

役割を分担し 仕事に集中

導入から3年。入力作業にも慣れ、最近さらには高度な使いこなし方もできるようになった。

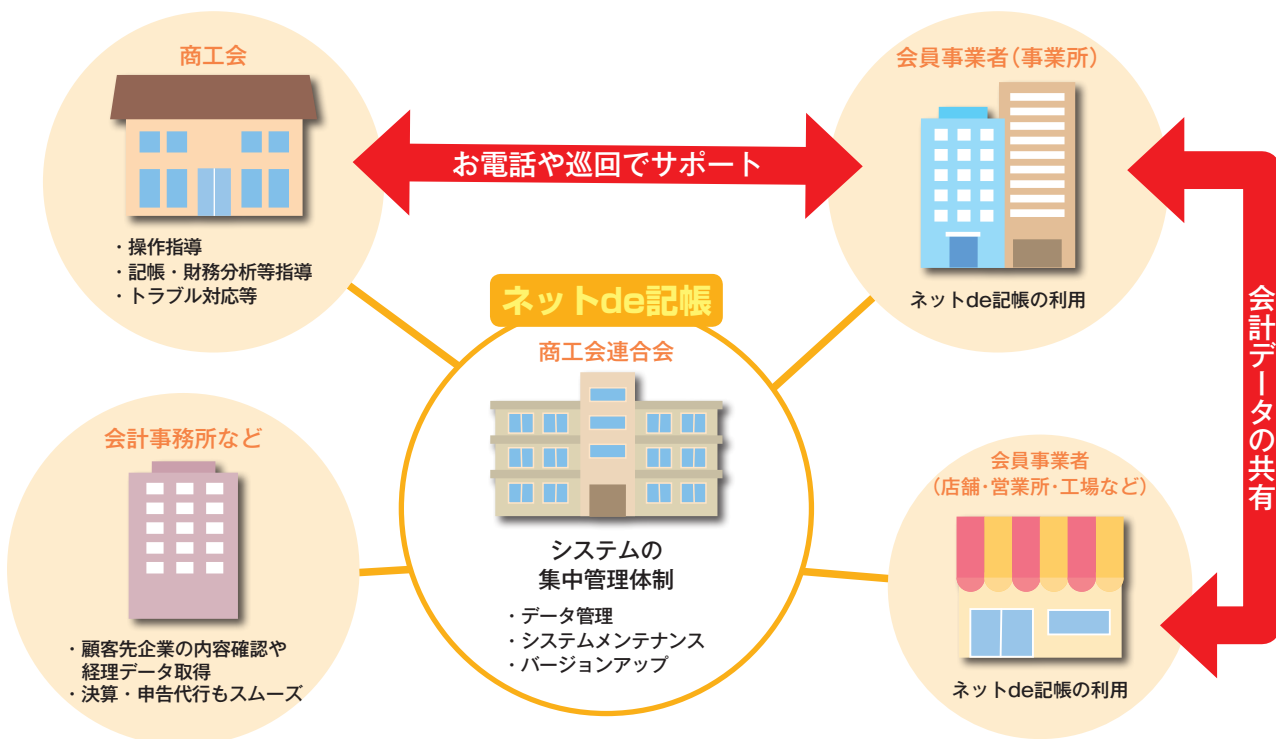
「日々のお金の出入りさえ入力すれば、計算しなくても業績がひと目でわかる機能は便利です。これだけ儲かった、とわかれば仕事の励みになるし、反対に今月は売上が多いけど、経費を思いすぎたな、と思えば、『今月はガソリン代がかかりすぎよ』と注意することもできます(笑)。逆に今月は利益率が高かったということがわかると、その理



由を2人で考えてみたりもします」(洋子さん)
一方、由宏さんにとってのメリットは苦手な帳簿付けから解放されたことだ。「いまでは経理面は妻に安心して任せられるので、これまで以上に仕事に集中できるようになりました。不況のなかでも毎年売上が伸びているのも、ネットde記帳のおかげかもしれませんね」

田中由宏さん・洋子さんご夫妻。奥様は子育て中のため自宅のリビングで作業をすることも多いという

ネットde記帳は インターネットでつながる 簡単・便利なシステムです



決算も サポート!

画面にそって、必要事項を入力すれば、青色申告決算書／決算報告書が作成できます。

青色申告決算書出力イメージ

貸借対照表出力イメージ

貸借対照表		単位:円	
平成25年3月31日現在			
【流動資産】	流動資産		
現金	1,000,000		
預金	11,100,000		
債権	10,000		
固定資産	2,000,000		
流動負債	21,470,000		
【固定負債】	固定負債		
固定負債	871,600		
純資産	871,600		
【流動負債】	流動負債		
流動負債	12,868,800		
負債合計	34,338,800		
【純正資産】	純正資産		
純正資産	13,969,200		
純資産合計	13,969,200		
負債合計	48,308,000		
純資産合計	48,308,000		

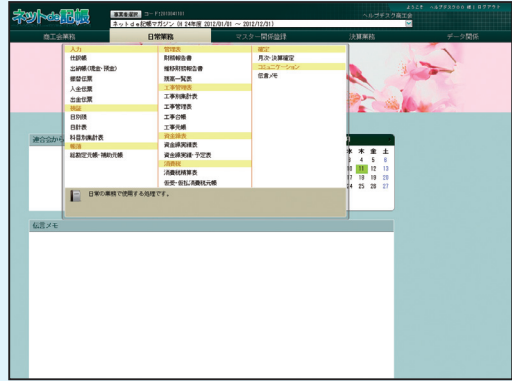
損益計算書出力イメージ

損益計算書		単位:円	
平成25年4月1日～平成25年3月31日			
【売上高】	売上高		
売上高	22,148,118		22,148,118
【売上費用】	売上費用		
売上費用	1,000,000		1,000,000
【営業利益】	営業利益		
営業利益	21,148,118		21,148,118
【営業外収益】	営業外収益		
営業外収益	1,000,000		1,000,000
【営業外費用】	営業外費用		
営業外費用	1,000,000		1,000,000
【当期利益】	当期利益		
当期利益	2,000,000		2,000,000
【繰越利益剰余金】	繰越利益剰余金		
繰越利益剰余金	8,969,200		8,969,200
【繰上利益剰余金】	繰上利益剰余金		
繰上利益剰余金	1,000,000		1,000,000
【繰下利益剰余金】	繰下利益剰余金		
繰下利益剰余金	0		0
【繰越利益剰余金】	繰越利益剰余金		
繰越利益剰余金	10,969,200		10,969,200
【繰上利益剰余金】	繰上利益剰余金		
繰上利益剰余金	1,000,000		1,000,000
【繰下利益剰余金】	繰下利益剰余金		
繰下利益剰余金	0		0
【繰越利益剰余金】	繰越利益剰余金		
繰越利益剰余金	12,969,200		12,969,200
【繰上利益剰余金】	繰上利益剰余金		
繰上利益剰余金	1,000,000		1,000,000
【繰下利益剰余金】	繰下利益剰余金		
繰下利益剰余金	0		0
【繰越利益剰余金】	繰越利益剰余金		
繰越利益剰余金	13,969,200		13,969,200
【繰上利益剰余金】	繰上利益剰余金		
繰上利益剰余金	1,000,000		1,000,000
【繰下利益剰余金】	繰下利益剰余金		
繰下利益剰余金	0		0
【繰越利益剰余金】	繰越利益剰余金		
繰越利益剰余金	14,969,200		14,969,200

入力も
簡単！

メニュー画面からクリックして業務を選択します。わかりやすい画面や、入力候補リストの表示、コード入力など、効率的な作業をサポート。

メニュー画面



仕訳帳画面



振替伝票画面



付箋や伝言
メモも便利！

ネットワークでつながっているのだから、仕訳に付箋を貼ると、商工会などへの相談が、離れた場所からでもリアルタイムに行えます。

商工会の記帳指導のイメージ

同じ画面を見ながら電話で話ができるので内容をわかりやすくお伝えします。



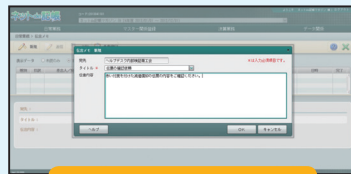
会員事業者様

証憑整理

データ入力

帳簿印刷

申告書作成



ネットde記帳

商工会

操作指導

内容確認

財務分析

改善提案

材料費の問題点に気づいて 価格やメニューを見直し、 収益が改善されました。

自計
飲食業
話食家 和
広島県広島市
沼田町商工会

どこでも作業OK
数字を入れるだけ

「自分たちが食べておいしいと思うものしか出さない」をモットーに地産地消にこだわる「話食家 和」は、テレビでも紹介される地元ではかなりの有名店。



「電子申告もできるようになりました」(好江さん)

「主人が勤めていた電機メーカーを早期退職して開業したのが2004年。商売経験がなく、開業当時は商工会で帳簿の付け方を教えてもらっていたのですが、夫婦そろってそろばんを弾くのは苦手。そこで『パソコンでできる方法はないの?』と商工会に尋ねたら、ネットde記帳を紹介され、すぐに手を挙げました」

店主の谷口和さんの奥様、好江さんは、ネットde記帳導入のきっかけをこう語る。もともとITには明るかったため、使い方で悩むことはまったくなかったそうだ。「ネットde記帳のいいところは

物に行き、店の支出分に丸を付けて定型仕訳機能を使えば、簡単に仕訳をしてくれる。あとは月末に1ヵ月分の入力した結果に誤りがないかを確認するだけです。おかげで日々の入力作業は10分程度。これは非常に助かっています」

サービス向上と業務の安定化に集中

経理の雑務から解放されたおかげで、新たなメニューづくりなどサービス向上と業務の安定化のために集中できるようになった。「話食家 和」では従来1000円だったランチを昨年から2000円に変更したことで、収益が大きく改善した。これもネットde記帳の効果のようだ。



「最初の頃は赤字続きでしたが、ネットde記帳を導入してから問題点は材料費が高すぎたことであつたと気づきました。ただし2人でやっていますので、客数を増やすのは現実的に難しい。そこで単価を上げて、その分、メニューをさらに工夫する方針にしたので

と、和さんは話す。値上げには不安もあったが、客層が変わったことでむしろ売上が伸びているという。「お客様にいいものを提供したいという気持ちから、儲かった分だけいい食材を仕入れるようにしているの、いつまでたつても楽になりません(笑)。ふたたび赤字にならないようにネットde記帳をもっともって活用していきたいですね」

入力是好江さんが、分析は和さんが担当している

担当事務員の 退職を期に導入

一般住宅の建築を中心に、水道の漏れからふすま修理まで対応する地域密着型の建築会社、(株)たけのした技工がネットde記帳を導入したのは2009年。10年以上経理を担当していた事務員の退職がきっかけだ。「ちょうど子育てが一段落したので、私が経理をすることにしたのですが、専門



手書きの帳簿も付けることで経理の仕事に慣れたという竹野下映子さん

知識がなく、とても苦勞しました。独身時代に勤めた会社で事務をしていたのでパソコンを使って経理ができないかと商工会に相談したところ、ネットde記帳を教えてくださいました」社長・竹野下大さんの奥様で、経理担当の映子さん

は当時をこう振り返る。

既存の会計ソフトも検討したが、建築業で使うにはカスタマイズが必要な場合がほとんど。これに対してネットde記帳は工事台帳の機能が最初から入っている

ので、伝票を見ながら金額を打ち込むだけで台帳管理ができる。これが導入の決め手だったという。

ただし、当初は、戸惑うこともあった。もっとも苦勞したのが支出を科目のどこに入れればいいのかからなこと。

「たとえば、『釘』は材料費なのか、消耗品なのか。最初の数週間は毎日のように、商工会に電話をして教えてもらったり、事務所まで来ていただいて画面を見ながら教わったこともあり

ます。担当の方には感謝し

長期にわたる工事でも リアルタイムで損益を 意識しながら仕事ができます。

自計
建築業

株式会社たけのした技工

広島県広島市

● 広島安佐商工会

ています」

間違いに気づいても 入力を直すだけ

建築の経理は特殊性が多い。とりわけ中小企業の場合

は工事の種類と内容が幅広い

だけに、ネットde記帳のメリットが大きいという。

「工務店の仕事は、仕事が終わるまで長期間かかるものも少なくありません。場合によっては期をまたぐ作業もあり、それを手作業で管理するのは非常に苦勞しました。間違いに気づいても手書きの台帳を修正するのに手間がかかるのですが、ネットde記帳なら伝票の番

号で検索して正しい数字を入力し直すだけ。経理にかける時間が大幅に減り、その分、家族との時間が増えたのもうれしいですね」

ネットde記帳を導入したことで、現場の業務にもプラスの効果が出てきた。

「長期にわたる工事の場合、完了しないと損益を知ることができませんでした。このため当初思ったほど儲けがないということもあったのですが、導入してからはリアルタイムの損益を意識しながら仕事ができる。おかげで収益がかなり安定しました。つい最近も、現場に出ている社長から『あの仕事でどれだけ経

費がかかっている?』と聞かれたのですが、すぐに私が答えられたので、驚いていました(笑)。社長に現場での作業に集中してもらうためにも、ネットde記帳をもっと使いこなしていきたいですね」



「決算などをお願いしている税理士さんと情報共有もできます」(映子さん)

楽で安心な 記帳代行サービス

雄大な阿蘇山麓の大自然に囲まれた南阿蘇村には、80軒のペンションがある。2007年にオープンした「ペンション響」もそのひとつ。「和」のサービスを前面に打ち出して独自の存在感を打ち、固定ファンをつかんでいる。

オーナーの和田浩平さんは、「人生は一度きり。ダメもとでやってみよう」と、



「商工会のサポートは頼もしいですね」と和田浩平さん

20年間勤務した酒類卸の会社を退職。「ホテルや旅館にはない、コミュニケーションを大事にしたペンション」を追求してきた。

「ペンション響」ではご夫妻で仕事を明確に分担している。料理担当は奥様、経営やホームページなどのPC業務、清掃は和田さんの役割だ。ネットde記帳の記帳代行サービスを利用したのは創業時から。

「商工会に創業の相談に行き、指導員の方といういろいろお話ししているうちに記帳代行サービスがあることを知り、お願いしました。会社員時代に営業経験はあったものの、経理はおぼつかなかったので助かっていました。日計表の記入は滞らないように、昼間に時間を見つけて記入するようにしています。繁忙期の夏の間は日計表を1週間分まとめてつけることもありすが、やはり代行は楽で安心。利用していませんでした。不安だったと思いますね」

南阿蘇村商工会の経営支援員によれば、「和田さんの日計表記入に漏れや仕

記帳代行で生まれた余裕を、 ITを活用した 集客活動に充てています。

代行
宿泊業

ペンション響

熊本県阿蘇郡南阿蘇村

●南阿蘇村商工会

誤ミスは見られず、ほぼ完璧。年間の粗利率にブレがなく、宿泊業としては理想的な数字を達成しているという。

余分な仕入れを防止 コストダウンを図る

「ペンション響」は完全予約制を導入している。空室があれば飛び込みも受け付けるが、食事は出ない。完全受注販売スタイルのため、食材にロスが出ず、光熱費にも無駄がない。

そのうえ、記帳代行サービスを利用することで生まれた時間的な余裕を、ホームページやフェイスブックを活用して集客に励む時間

に充てるようになった。こうした情報発信もばらつきが少ない安定した数字に直結しているようだ。

経営意欲も旺盛だ。商工会が実施する経営セミナーなど「これは」と思う催しがあれば、時間を捻出してはこまめに足を運び、毎月、商工会から前月分の損益計算書や貸借対照表などが返却されると、必ず仕入れ額や粗利率、過去の推移をチェックする。

「6年経ちましたから、自分なりに見比べられるようになりました。決算期の税法改正や所得控除について詳しく説明していただいているので心強い。ただ、全



さらなる集客に向けた和田さんの奮闘にネットde記帳がひと役買っている

面的に任せっきりにするのではなく、自分でもう少し経理の勉強をした方がいいかな、とも考えています。とくに節税についてはもっとと学んでいきたいですね」



落ち着いた雰囲気「杏家DINING」

売上や経費、粗利などの数値が 目に見えて把握できるので 経営にすぐに役立ちます。

代行
飲食業

杏屋DINING

熊本県熊本市

●合志市商工会

帳簿への意識が高まった

熊本市唯一の繁華街・上通りにある、創作料理と豊富な酒類が評判の居酒屋「杏屋DINING」。店主の河合知尚さんは2007年のオープンから、經理のアウトソーシングとしてネ

ットde記帳の記帳代行サービスを利用してきた。日計表の記入を担当しているのは奥様の珠美さんだ。「店を始めるとき、熊本市内で店を運営している友人から『商工会に頼むといい』とアドバイスされました。さっそく、帳簿の付け方指導をお願いしたところ、記帳代行サービスを薦められ、それ以来ずっと利用しています。經理の知識がないので、科目別内訳表や損益計算書、貸借対照表などを作成していただけるのは本当に便利。仕訳の項目がわからないときは、表の一番下の空白の部分に入れておけばいいので、私の負担は

ほとんどありません。わからないことがあればそのつど確認しています」
10日までに日計表と通帳を商工会に持参し、前月分の損益計算書、貸借対照表、科目別内訳表を返却してもらう。これが珠美さんの毎月のスケジュールだ。出力帳票のなかで、珠美さんはとくに入念に損益計算書に目を通して



の作業を繰り返していくうちに帳簿に対しての意識も高まったように思います」
銀行からの借入がスムーズに
オープンから4年後、2号店となる「イナロ食堂」が誕生した。
2号店を開くにあたり金融機関から融資を受けたが、このとき記帳代行サービスが大きな力を発揮した。「決算書しかない状態で融資をお願いするケースが多いのですが、私たちは毎月欠かさずに損益計算書や貸借対照表を作成していたので、金融機関

からの借入がスムーズに進みました。商工会の指導を受けている点が高く評価されたようです。これは、予想以上のメリットでした」
現在、正社員は4名、パートやアルバイトを含め、計14名体制で2店を運営している。商工会には、専従者の給与の支給額の相談、小規模企業共済への加入、所得税や市県民税、国保税の節税対策など、さまざまな場面で相談に応じてもらっているという。
珠美さんの控え目な笑顔からは、經理担当者としての確かな自信がうかがえた。

商工会で指導を受ける河合珠美さん(左)

小規模事業者にクラウドサービスはうってつけです

——まず小規模事業者のIT化の現状についてお聞かせください。

ひと言で言えば「二極化」ですね。スマートフォンやパソコンを普段使っている方は事業でIT活用をしています。普段IT機器に触れていない方は「自分はアナログな人間だから」とIT化が進んでいません。「ITが苦手」という人は「食わず嫌い」と一緒です。とにかく「使って便利」を実感してほしいですね。手書きの請求書を機械で発行すれば、その利便さを実感できます。そうなれば、給与や会計も機械化しようという意識も芽生えます。

——小規模事業者には、代表者が営業、経理、企画など複数の業務を兼務していることが多く、忙しくてIT化どころではないという方も多いのでは。

そういう方にこそITは有効です。業務が単純で標準化されている経理のような分野からITを導入していくと、むしろ日々の単純業務から解放され、戦略や企画立案などの高度な業務に時間を割くことができそうです。自社の真の課題を把握し、それについて考える時間を確保できるのです。

——ITの知識がない、専任者を置く余裕がない、費用がないといった理由で、

IT化に踏み切れない事業者もいるようです。

確かに、これまでは業務用アプリケーションソフトを導入するとすると、費用が高かったり、専門のスキルが必要だったり、導入へのハードルが高かったのは事実です。こうした問題をすべてクリアする方法のひとつが、いわゆるクラウドサービスです。ネットde記帳もそうですね。

クラウドサービスではサーバー側のハードウェアやOS、アプリケーションソフトはサービス事業者が一括管理しますから、利用者は、初期投資が安く済みま

すし、インストールやセットアップ、バージョンアップの手間も不要です。IT予算に制限のある小規模事業者にとって、使用しながら効果を確かめるクラウドサービスはうってつけだと思います。

——IT化を図るうえで、事業者が注意すべき点を教えてください。

ITは魔法の杖ではありません。あくまで道具。大事なものはITを活用して何をやりたいのかを明確にすることです。ネットde記帳のように経理にITを導入したら、入力しただけで満足するのではなく、集計したデータを見てほしいですね。ボタンひとつで、自社が置かれている環境が簡単にわかりますから、ぜひ活用してください。

伊東寛記さん

クエスト・フォー株式会社代表取締役。中小企業診断士、ITコーディネータ

経済が右肩上がりの時代と違って、いまは経験則が通用しません。数字で自社を把握する必要があります。といつても、いきなり財務管理に役立てることは難しい。ITは身の丈に合った使い方があります。まず使ってみて、最初のうちは省力化に専念し、徐々に経営とリンクさせていくといいでしょう。



いよいよネットde記帳の 本領発揮!



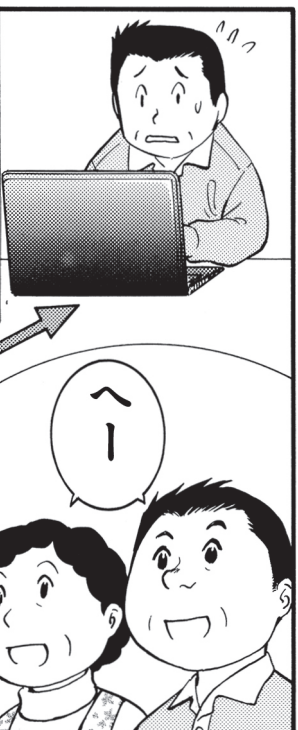
行きます 聞きます 提案します!

**商工会が
経理の悩みを
解決します!**

後編

漫画 国広あづさ

操作でわからないときも商工会が親切サポート！

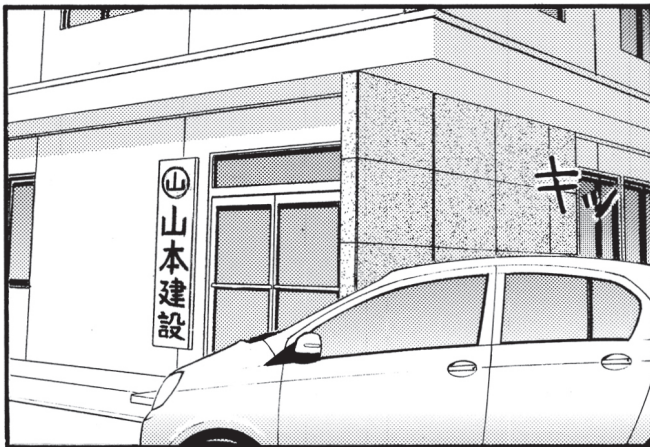
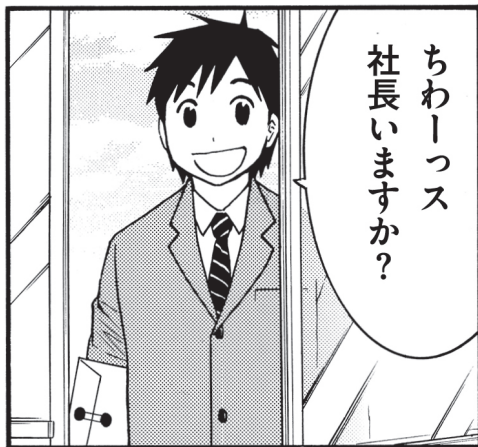


商工会が経理の悩みを解決します!

ネットde記帳は農業、建設業、不動産業にも対応しています



商工会が代わって入力する記帳代行サービスも便利です

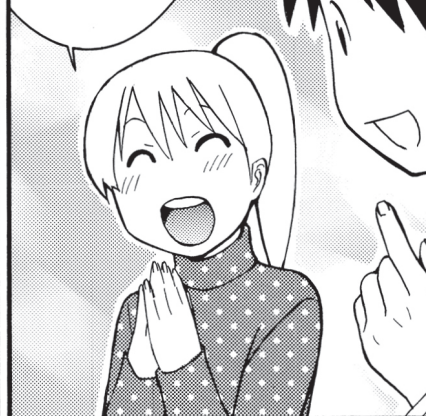
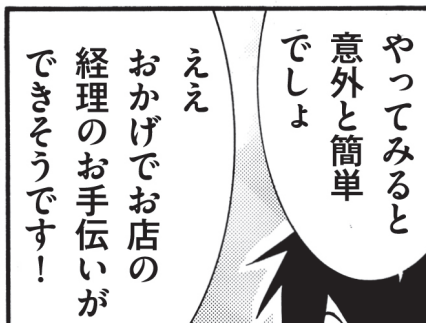
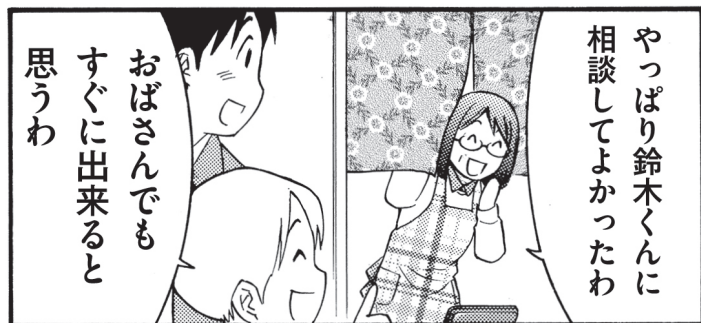
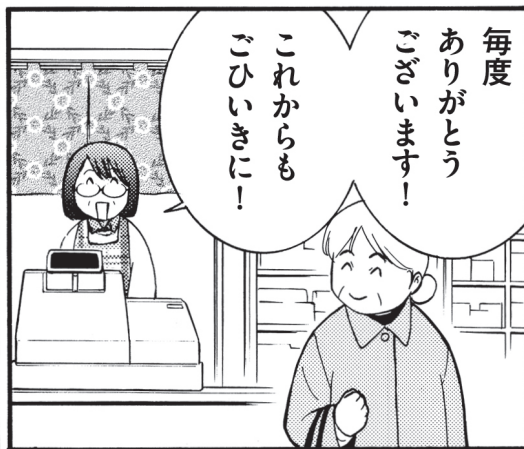
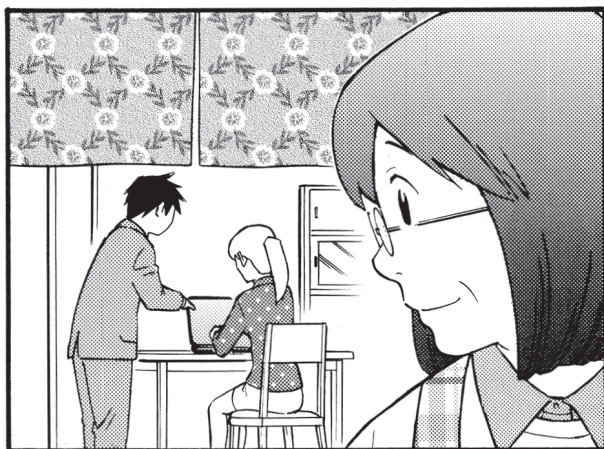


商工会が経理の悩みを解決します!

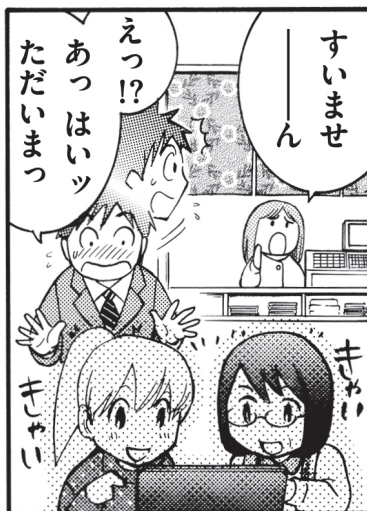
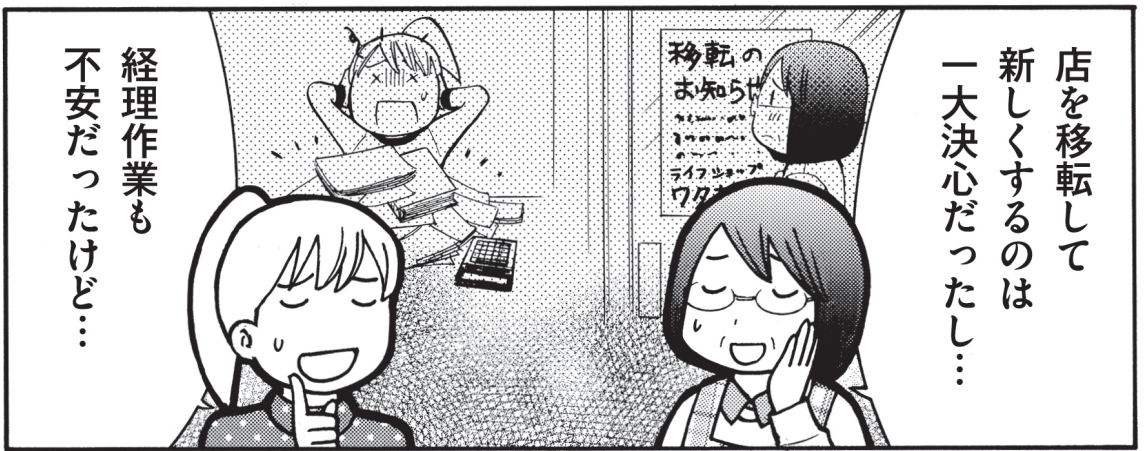
日計表をもとに商工会が試算表を作成してお届けします



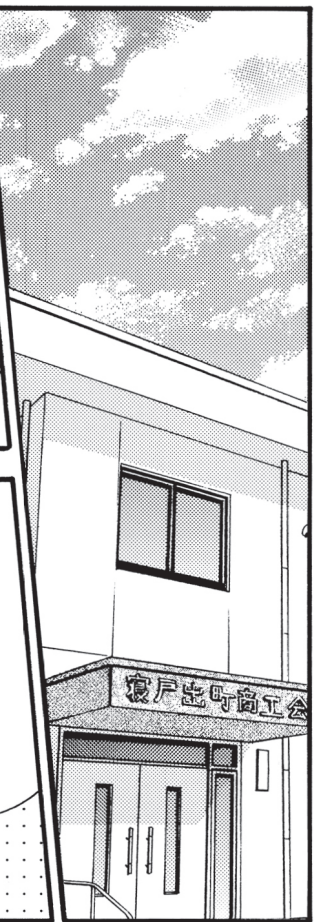
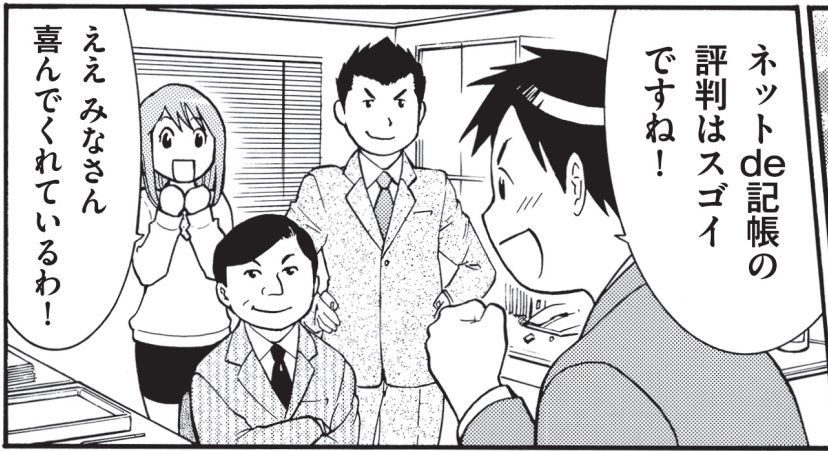
インターネットに接続したパソコンがあればどこでも入力



ソフトのインストールやバージョンアップの手間も不要です!



ネットde記帳のことなら商工会にお問い合わせを



(終わり)

経営判断は経理の 日々の積み重ねが 大事です

——小規模事業者の経理の問題点とは？

小規模事業者は、法人にしても個人にしても、経理業務の専任者がいないことがほとんどです。代表者の奥様が担当したり、代表者自身が業務の傍ら片手間でやっているパターンが多い。時間がなく簡単な方法で済ませるため、正確性に乏しく、経理が経営判断の材料になっていません。これが一番の問題です。本来は数値を正しく把握できる経理体制があつてこそその経営ですからね。

——経理の体制を変えるきっかけとは？

一つは世代交代ですね。もう一つは銀行の融資でし

ようか。経営資料をすぐに提出できなかったり、「売上はどうですか」と聞かれたときに即座に数字で答えられないと、金融機関側の心証は悪くなります。さらに、2014年1月から、すべての白色申告者に、記帳、帳簿保存が義務化されます。記帳業務はもう必須。変わらざるを得ません。

——経営指標をつねに把握しておけば、融資の際も有利に働くのですか。

そうですね。経営判断には特効薬はありません。結局は日々の積み重ねです。私は経営者の方には「ネットde記帳のようなシステムやソフトを導入し、それに仕事を合わせましょう」とお

話しています。現金と預金の動きを入力するだけで経理の90%は終わり。お金を払ったり、請求書を発行したら、そのつどパソコンに入力する。難しいことはありません。

保全の意味でも、安心です。東日本大震災を機に注目されましたが、ネットde記帳はBCP(事業継続計画)にも対応していますから、緊急時にも経営へのダメージを抑えられます。

——ネットde記帳は、記帳代行と自計の2つのタイプがありますが、自計化するメリットは？

自計化すればリアルタイムで経営数値が確認できます。商工会担当者などと同

じ画面を見ながら、電話一本で対策を相談できるんです。会計的には、月次よりも日次決算に変えた方が絶対がいい。とくに、日銭が入ってくる小売店や飲食店の場合は日次による効果は大きいですよ。原因究明が早いので、迅速に対策を考えられるからです。

——経理がついおろそかになってしまふという方にアドバイスをお願いします。

商売で大事なのは結果ではなく、結果を受けて、この先何をすべきか。その点、IT化するとPDCA(プラン・ドゥ・チェック・アクション)のサイクルを回しやすくなります。売上を上げて利益を伸ばすために

は有益な情報が欠かせません。経理もITも、結局は経営判断のためのツールなんです。実際に経理をIT化してみたら「けっこう簡単だった」「数字が目に見えて励みになる」という方は多いんです。楽しく取り組んでもらいたいと思いますね。

片野浩史さん

片野浩史税理士事務所所長。
税理士、ITコーディネータ



商工会の取り組み

A県連では、**ネットde記帳**の普及活動として地元商工会で実施する体験会に力を入れています。体験会では**ネットde記帳**の概要や商工会のサポート体制をご説明し、その後、実際の入力作業を体験してもらっています。参加者は50代が中心ですが、最高齢では80代という方でも、ほかの参加者といっしょに入力ができました。

B商工会では、決算時を中心としたパンフレットの配布などのほか、親から子への事業承継を機に、**ネットde記帳**の導入をお奨めています。**ネットde記帳**の存在を知らなかったり、記帳代行を知らない事業者さまもいるので、ぜひ多くの方にそのメリットを伝えていきます。

商工会は、
行きます
聞きます
提案します！
ネットde記帳 担当者より

C県連では、独自のお客様専用のヘルプデスクを開設して、いつでもサポートできるようにしています。電話だけでなく、場合によっては訪問して指導することもありますので、一般の会計ソフトに比べれば、**ネットde記帳**はソフトの導入費用も不要ですし、メリットが大きいです。

D商工会では、**ネットde記帳**の導入時に、最初のうただけ手書きでの経理も同時に行うことを薦めています。**ネットde記帳**は経理の初心者でも簡単に入力できることがポイントですが、手書きでの経理も同時に行うことで経理の仕組みをしっかりと理解できるようになりますので、のちの経理業務に役に立ちます。

相談して
ください！

商工会の記帳サポート

記帳指導

「帳簿の付け方がわからない」「仕訳に自信がない」など、経理事務に不安のある方に、記帳・簿記の指導を行っています。商工会によっては会員の皆様を対象に簿記講習会や経理ソフト講習会などを開催しています。

記帳代行指導

ネットde記帳などの経理ソフトを活用した経理業務のサポートで、「経理担当が辞めてしまって困っている」「忙しくて経理に手が回らない」などの事情でお困りの場合、商工会が皆様に代わって記帳を行います。

自計指導

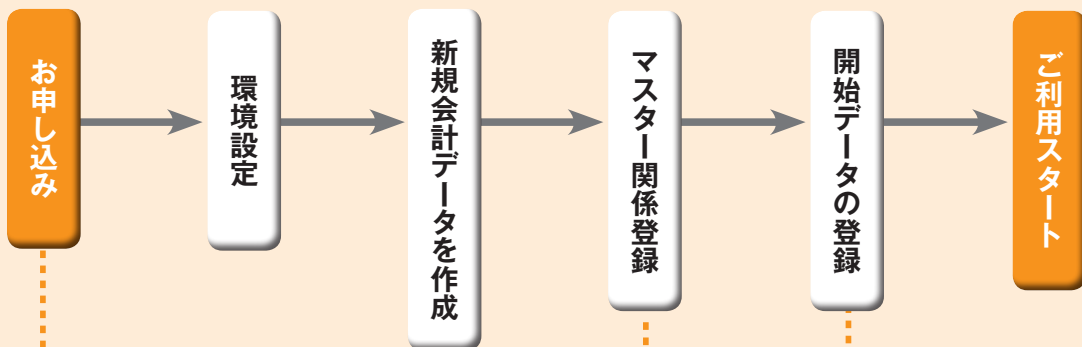
ネットde記帳等の経理ソフトを利用して、自身で経理業務を行えるようにソフトの導入や操作方法、決算、税務関係の支援を行っています。ネットde記帳なら商工会業務でも使用されており、安心して利用できます。

決算指導・経営分析指導

会員の皆様に、決算書の書き方や計算方法など決算に関するさまざまな指導を行っています。また、決算をもとに自身で所得税や消費税の申告をされる事業者様のために、商工会で税理士の先生が相談に応じています。

ネットde記帳をご利用いただくには

お申し込みからご利用スタートまでの流れ



お申し込み方法

① 商工会へお越してください

アプリケーションサービス利用に関する規約（または要項等）について書面にてご説明いたします。これにご同意いただき、利用申込書に必要事項をご記入いただければ手続き完了です。

② IDとパスワードを発行

お申し込みから1週間ほどで、IDおよびパスワード、その他必要な書類を商工会窓口または郵送でお渡しいたします。これでネットde記帳がご利用になれます。

※利用申込書、アプリケーションサービス利用に関する規約等は各商工会に準備してあります。

※利用料金、お支払い方法は各商工会にお問い合わせください。

事前にご準備いただくもの

① パソコン

パソコンの推奨環境についてはP4をご覧ください。

② インターネット接続

③ 直近の決算期に関する会計資料

ネットde記帳を最初に利用する場合、新規会計を作成する必要があります。皆様の経理状況を確認させていただき、補助科目や開始残高の設定、減価償却資産の登録などを事前に行いますので、以下の資料をご準備ください。

- 前年度決算書や残高試算表
- 現金・預金出納帳や掛元帳などの補助帳簿
- 消費税申告書
- その他事業用会計に関する情報



ネットde記帳 マガジン

ネットde記帳に関するお問い合わせはこちら

ネットde記帳マガジン

発行日：2013年4月30日

発行元：全国商工会連合会 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19階
TEL.03-6268-0088(代表) / FAX.03-6268-0997 / URL <http://www.shokokai.or.jp/>